

平成27年8月 日

池田市長 小南 修身 様

池田市行財政改革推進委員会
会長 佐々木 弘

平成26年度における池田市行財政改革推進プランの取組状況に関する意見書（案）

平成27年8月18日付け池行経発第7号により本委員会に意見を求められた「平成26年度における池田市行財政改革推進プランの取組状況に関すること」その他について、下記のとおり意見を提出いたします。

記

1 平成26年度の取組状況等に関する意見

(1) 改革の目標の達成状況について

改革期間の最終年度である平成26年度において池田市行財政改革推進プラン（以下「プランⅠ」という。）に掲げた改革の目標の全てを達成したことは評価するが、池田市行財政改革推進プランⅡ（以下「プランⅡ」という。）に基づき、今後も不断の行財政改革に努められたい。

(2) 職員数に対する評価について

プランⅠと同様の職員数の目標を掲げるプランⅡに係る年次報告においては、類似団体のデータを参考資料として掲載するなどして、目標設定の妥当性をより説得力のあるものとするように努めることが望ましい。

(3) 資料の作成について

取組の内容等が市民等により分かりやすく伝わるよう、最終報告取組内容説明資料に関し次のような改善をお願いしたい。

- ① 現行の「備考」欄を、例えば「実施結果等」欄に改める。
- ② 上記の「実施結果等」欄には、財政的数値を定量的に記入している「効果額」欄には記入し得なかった内容の定性的な記入にも努める。

2 今後の行財政改革推進委員会のあり方に関する意見

「質の行財政改革」に関する実施プログラムに係る効果の測定について、例えば次のように分けて考察してはどうか。

- ① 実績の効果の測定方法
- ② 単年度の目標・実績・評価（plan・do・see）サイクルの具体化

今後事務局とともにこの難問について検討すべきである。